

プログラフ[®]を 服用(使用) されている方へ



プログラフ[®](タクロリムス)というお薬について

ループス腎炎は、全身性エリテマトーデス（SLE）の腎症状としてネフローゼや腎機能障害が起きる疾患です。SLEは、全身性の炎症性病変を特徴とする自己免疫疾患で、何らかの遺伝的素因を背景として環境因子が加わり発症すると推測されています。プログラフ[®]は、免疫に関与するT細胞に作用して、炎症に関わるサイトカインの産生を抑える作用をもつ免疫抑制剤です。

1 用法及び用量

通常、成人ではプログラフ[®]カプセル（1mgを3カプセル）を

1日1回、夕食後に服用します。

ただし、十分な効果が得られた場合には、その効果が維持できる用量まで減量することがあります。

コップ1杯程度の水またはぬるま湯と一緒に服用してください。



2 服用にあたっての注意点

- 体調がよくなつたと自己判断して使用を中止したり量を加減したりすると、本来の効果が得られないことがあります。指示どおりに服用してください。
- 絶対に2回分をまとめて一度に服用しないでください。誤って多く服用した場合は医師または薬剤師に相談してください。
- 服用し忘れた場合、その日のうちに気がついたときはできるだけ早く服用してください。翌日気がついたときは、忘れた分を服用しないで、次の服用時間に1回分を服用してください。
- 授乳を避けてください。
- グレープフルーツジュースと一緒に服用しないでください。プログラフ[®]の作用が強くあらわれることがあります。
- カンナビジオール含有製品と一緒に使用しないでください。プログラフ[®]の作用が強くあらわれることがあります。
- セイヨウオトギリソウ（セント・ジョーンズワート）を含む健康食品はプログラフ[®]の作用に影響を与えるので、控えてください。

3 副作用

次のような副作用があらわれる可能性があります。

- 腎機能検査値異常（クレアチニン上昇など）
- 感染症（鼻咽頭炎など）
- 消化管障害（吐き気、下痢など）
- 耐糖能異常（血糖上昇、HbA1c上昇など）

気になる症状があらわれたら、
すぐに主治医または薬剤師に
相談しましょう。



プログラフ[®]を服用(使用)されている方へ



病院名